

## 静岡市新清水庁舎建設検討委員会 第6回会議

### ＜議事要旨＞

開催概要	
<b>■日時</b>	平成31年1月29日(火) 13時00分～14時00分
<b>■場所</b>	葵消防署 5階 53会議室
<b>■出席者</b>	委員 日詰一幸委員長、伊東哲生委員、加藤孝明委員、高山茂宏委員、寺沢弘樹委員、鍋倉紀子委員、森正芳委員、山田芳弘委員 ※黒瀬武史委員、宗田好史委員(欠席)
	事務局 静岡市 企画局 川崎公共資産統括監 アセットマネジメント推進課 向達課長、山田室長、柴参事、植田主査、萱場主査、清水主任主事 (コンサルタント) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 筒井、志賀
<b>■傍聴者</b>	13人
<b>■議題</b>	1 開会 2 議事 (1) パブリックコメントの実施状況と基本計画への反映について 3 その他 (1) 新清水庁舎建設基本計画の公表 平成31年2月(予定) 4 閉会
<b>■資料</b>	・「新清水庁舎建設基本計画 パブリックコメントの結果」 ・「新清水庁舎建設基本計画案パブリックコメント意見・回答集計表」 ・「パブリックコメントを受けて基本計画(案)を修正した箇所」
議事要旨	
1 開会	
2 議事(1) パブリックコメントの実施状況と基本計画への反映について	
事務局	(資料説明)
日詰委員長	ただ今事務局から、このパブリックコメントの見解につきまして、また、寄せて頂いたご意見を分類した中で、すでに基本計画に反映した意見7種類についても報告いただいておりますが、今の報告・説明を通しまして皆さまからご意見、ご質問を頂きたいと思っております。頂いたご意見でさらに検討すべきところがあるようであれば、そこも含めてコメント願います。どうぞよろしくお願いいたします。
寺沢委員	お願いしたいことがあります。一つ一つの生の意見に対して、まとめ方が項目ごとに分ける必要があるのですが、簡略化し過ぎています。市民の方々の想い、本当のニュアンスの多様性が抜け落ちています。また、それに対しての基本計画案が非常に教科書的であります。「まちの再生」「コンパクト」など議論してきたコンセプト、強い意志の意味合

いが薄まり、総花的になっています。市民意見との連携が感じられません。もう少し丁寧に読み解く必要がある気がします。

日詰委員長

非常に重要な意見です。実際に公表するにあたりましては、もう少し丁寧に検討して頂きますようお願いいたします。

鍋倉委員

パブリックコメントの意見の属性について、若い人からの意見が増え、関心が高まっていると評価する説明がありました。若い人の意見だから正しく、お年寄りの意見だから正しくないというものでもありません。いろいろな点で若い人にウェートを置きすぎるのはいかがなものでしょうか。パブリックコメントはどれが大事でどれが大事ではないということはないと思います。市の方で若い人の意見だからと無条件に尊重することは、逆に若い人への差別にもなりかねません。年代を問わず意見の内容そのものを公平に吟味し反映するべきだと思います。清水の人口は65歳以上が30%を占めていますし、これからも高齢者層は増えていきます。その人たちの意見もやはり同じように重要であると思います。

それに関連して、基本計画案の現状と過去についての分析がやはりまだ不足しているように感じました。これからの展望については詳しく書いてあり分かり易いので、そこに希望を見出した意見が多くなっているようですが、その前提としての現状や過去がどうであるかということに対する説明は不十分です。

現庁舎付近(万世町)が今賑わっているかということとそんなことはありません。現在の庁舎周辺が賑わっていないのに、これから駅の近くに新しく移したからといって、それが本当に賑わうかどうか、そのためには、今賑わっていないことに対する理解と検討が欠かせません。若い世代は、万世町や清水が本当に賑やかだった頃のことにも実際よく知らない人が多いです。清水の歴史と現状を十分理解したうえで、中高年層を中心とする人々が抱かざるを得ない「新庁舎が本当にまちづくりの拠点となり得るかどうか」に対する疑問や不安は、真摯に受け止めなければならないと思います。

計画が将来を見据えて、将来のこと、特に防災に関して詳しく書いている点は評価できると思いますが、今まで上手くいったこと、あるいは上手くいかなかったことに対する分析はまだ足りません。パブリックコメントの中には、その分析を含めた意見も多く見られたので、尊重し反映すべきだと思います。

日詰委員長

ありがとうございます。パブコメを通して市民の皆さまから語られている部分もありますし、この委員会の中でも、過去と現状についても委員の皆さまから色々なご指摘があったところかと思えます。そのあたりの記載が全体的に弱いとのご指摘かと思えますので、公表にあたってはさらにご検討頂くようお願いいたします。

建設基本計画案が(意見交換の)ベースとなっていますが、さらに配慮しなければならない点もあるかと思えますので、それも含めながらご意見を頂戴できればと思います。

寺沢委員

意見と回答の集計表の中の「清水のまちづくり」のところに関しまして。今回のまちを再生させるプロジェクトの一つが、庁舎移転だという共通認識で進めてきたかと思うのですが、それについてこれだけの意見

を頂いているということは、市民に十分伝わりきれていないところがあると思います。それに対する「本市の考え」を、「ご意見を受け今後の市政運営の参考とさせていただきます。」の一言で片づけるのではなく、基本計画の中で議論すべきではないでしょうか。

今回パブコメで反映した部分が、あまりにも安易すぎます。「ペデストリアンデッキでつなぎました」や「エスカレーター～」は非常に細かい個別の話であり、基本計画の中ではなくプロジェクトベースで検討すべきレベルかと思います。今突き詰めるべきことは、一番大きなコンセプトです。今後の市政運営に反映するだけでなく、突き詰めて、基本計画にどのように位置づけていくかを考えた方がいいかと思います。

日詰委員長

核心に迫ったご指摘かと思います。本日は簡単にまとめてはいますが、市民から頂いた意見はもう少し重いものがあるかと思います。その重さに応じて、市としても丁寧に対応していく姿勢は当然必要かと思います。

事務局

まちづくりに対する意見は、昨年も基本構想をまとめたときに、本市が考える清水の現状を踏まえたいうえで、市がやらなければならないことをもっと打ち出すべきだという意見があり、巻頭に市長の想いを載せました。それが、これからの本市清水地域の海洋文化のまちづくりをする上で、現状を踏まえたまちづくりの市民への説明の意味を持っています。この基本計画には、まだその部分は記載されていませんが、新たなビジョンを策定する部署もあり、庁舎だけで全てが実現するわけでないですので、想いを記載する中で回答していくことも可能かと思っています。

日詰委員長

ご尽力いただきたいと思います。他にいかがでしょうか。

高山委員

区役所ができることによって、まちづくりが前に進むかどうかは結果が出ないとわからないところがあります。何十年か前はまちが賑わっていたというのは、そのときの環境があると思います。環境が随分大きく変わってきており、マグロ船や重工業の人が飲み屋をうろついていたのが、一番賑わっていたという人もいます。10年ほどまちづくりに関わっていますが、それぞれの人がそれぞれの考え方を持っていますので、何がまちづくりかの結論に至っていません。

ここが浸水域だと言いますが、区庁舎を建てなければこの地域の防災がどうしてもいいわけではありません。まちづくりの拠点にはならないかもしれないかもしれませんが、駅周辺の住民の防災を考えたときに、皆が避難できる建物であればいいと思っています。ビルを借りても、いざという時に簡単に貸してくれるとは限りません。まちづくりの拠点になるかは区民次第だと思っています。

日詰委員長

ご意見ありがとうございます。

山田委員

その人たちの考え方に左右されるな、という考えがあります。100%同じ方向を向くことは難しい部分があります。日本の中のどこかでは災害が起り、災害が起りやすい地域があります。災害に強い建物ができ

たときに、防災面で地域の市民全員が対応できるソフトも大事かと思  
います。

海洋文化拠点という中で、客船が入港し観光客が入ってくるとして、  
災害が起きたときに、我々も含めそういった人々を安全に避難誘導で  
きるかというソフト面を充実させることも重要かと思

日詰委員長

ありがとうございました。委員会でも意見交換した部分かと思  
います。事務局でご検討いただければと思います。

伊藤委員

一昨年まで清水北商店街の理事長を4年ほどやらせて頂いていま  
したが、全国の他の商店街同様、人が歩かず、シャッターも下りて寂しい  
状態でした。当初から6年ほどが経ち、数十人レベルですが、集客人数  
も増えてきています。最近、JR清水駅周辺の屋根付き広場として、  
また新たなコミュニティとして活用されつつあります。大規模商業施設  
しか行ったことのないお子さんが商店街に遊びに来てくれています。大  
きくなったときにその商店街がまだ残っていればまた遊びに来てくれ  
るのではと思います。

ですから、庁舎も駅前にポツンと建つのではなく、まずは市民が集  
える場所を駅周辺に蓄積するのも一つの方法だと思います。これを断念  
すれば、葵区のベッドタウンとしてしか生き残る方法はないかと思  
います。何とかソフト面を検討しながら皆で前に進めていきたいです。

森委員

交通アクセス面から見たらよい立地だと言いながら、浸水区域な  
ので、防災面も考えてほしいというところが一番大きいのではないかと思  
います。静岡県の厳しい耐震基準を上回るものを作って頂ければいい。  
グランドデザインが見えない中で、庁舎を移転しその周辺を使いやすく  
変えていくことによって、どのような多様性が生まれ、清水のまちがど  
のようになっていくかを誰が見ても分かり易いものを早急に市民に向  
けて作っていただきたい。その中の一つが庁舎であるということをも  
市民に告知していただきたい。

日詰委員長

ありがとうございました。

加藤委員

今回の庁舎の計画は、防災に関しても、斜陽するまちに対して庁舎が  
どれだけ逆向きのベクトルのインパクトになり得るかという意味でも、  
非常にチャレンジなものだと思います。社会実験を地域総出でやっ  
ていくという、強いメッセージ性を持った計画の最初のものだと思  
います。計画書だけだと強いメッセージが感じられない。そういう意味では、  
基本構想のときと同様に、委員会と行政が市民に対して発する強いメ  
ッセージや、静岡市民が共有すべきビジョンが分かり易く伝わるような  
巻頭言を再度市長に書いて頂きたいと思

います。そこに立ち戻れば、この基本計画書が意図しているものをみんなが理解できるというものを、き  
っちり作って頂きたいです。  
地域を単位として総合的に考えるのがまちづくりです。総合的とい  
うのが重要な一方、行政は縦割りで、セクションごとに計画を持っ  
ています。他の行政計画を含めた清水のまちづくりの計画の全貌が分  
かるような内容が、資料の中に入っているとよいと思

例えば防災に関して言うと、危機管理セクションの津波防災地域づくりの推進計画がありますし、都市計画セクションにいけば、防災都市づくり計画があります。まちづくりに関しても、都市計画マスタープランや臨海部グランドデザインと関係して、その中に市役所の基本計画もあるのだという読み取りができるような資料を追加いただけたらと思います。

日詰委員長

この基本計画案そのものの中に、どういう見取り図の中にこの庁舎が位置付けられているのかが清水の皆さんに分かるような構成にさせていただくことが大事です。色々なコメントが寄せられている中で、丁寧な説明がなかったことを通して出てきているご指摘もあると思いますので、色々な行政計画との関わりの中で新庁舎の建設基本計画が位置付けられているかが分かる見取り図を、基本計画の中に上手く入れて頂きたいと思います。

鍋倉委員

今回のパブリックコメントでは、基本計画案 p.54 の概算事業費の 85 億～90 億円という金額に最も意見が集まるかと思っていたのですが、意外とこれについて書いている人はほとんどいませんでした。85 億～90 億円という額があまりにも大きすぎてイメージしづらかったのか分かりませんが、計画案のなかで費用はとても大事なことであると思います。駐車場を民間運営して収益を確保することに疑問を呈するコメントはありました。この費用をこの先どのように支払っていくかについての計画と説明はまだ不十分です。これまで各委員から「まちづくりはとかく難しい」というご意見が出ていますが、それは、まちというのが住民一人ひとりの暮らしの集まりであり、まちづくりがそこに住む住民一人ひとりに委ねられている点が大いからなのではないでしょうか。

パブリックコメントを読んでいて思ったのは、「～していただきたい」「～してほしい」という表現がとても多く、当事者意識の薄さを感じました。市民はもっと自分たちが関わっているという意識を持たなければなりません。建設費用についても、それを自分たちが負担していくのだという意識が今一つ欠けているように思います。人を集めるために色々なイベントがあって、市も力を入れていることは分かるのですが、そのようなイベントで一時的に人が集まりにぎわいが生じることが現実にまちづくりにつながっている、つながっていくという住民の実感は希薄です。さまざまなイベントやサービスが無料であることに対して、特に子育て世代は、それをありがたいと思う一方、どこからお金が出てくるのか不安に思うことも多々あります。

お金を払わないことを当たり前と思っているにも関わらず、まちを何とかしてほしいという意識でいるのではなく、市民自身ももっと意識しなくてはならないし、市ももっと市民、区民一人ひとりに意識させていく工夫をしていかなければならないと思います。

日詰委員長

市民一人ひとりの主体性をどのように醸成していけばいいのかという、重要なご指摘かと思えます。中々難しいところもありますが、色々な取組を通しながら、一人ひとり何が自分の問題として捉え直して考えてみるきっかけが出てくるといいと思います。

寺沢委員

85～90 億円というコストがかかることに対して、静岡市としてもこれ

	<p>だけの公金を投下するのは一大プロジェクトであるはずなのですが、その投資効果は何をもって検証するか、きちんと整理されていません。</p> <p>基本計画で書かれている庁舎の外に出す機能が、会議室と倉庫だけでは意味がなく、それであれば元の場所でもいいという話になり、移転に対する懸念の意見がこれだけあるのは、それに対する明確な答えや意志、巨額をかけることへの覚悟が足りないことが理由だと思います。いくつかの課がまちなかで業務し、働き方がこう変わるということが明確に見いだせていなく、市民へもメッセージとして伝わり切れていないことから、基本構想の段階からそういう意見の出てくる割合が変わっていません。それが今の市民の答えなのだと思います。</p> <p>だからこそメッセージ性を強く出す必要があり、基本計画の総花的なものにもっと濃淡をつける、プライオリティを選ぶ必要があるだろうと、改めて思ったところです。今回の基本計画の、庁内に市民が使える会議室があり、外に職員が使う会議室があるというのは、入れ子構造で意味がない。このままでは空き店舗がそのまま空室（使わない会議室や倉庫）になるだけです。（商店街の中に庁舎機能の一部があり、そこで働くこと、そして区庁舎を移転することで）生産性がこれだけ上がります、という具体的な指標をメッセージとして見せる必要があると思います。</p>
日詰委員長	<p>後に続く検討について、ご意見を頂いたかと思えます。ありがとうございます。今後突き詰めて検討すべき事項があればお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>個人的な意見であります。千数百の意見が項目ごとに分類されていますが、区ごとで意見が違うのでしょうか。清水区の中でも津波の被害を受けそうな中心市街地に住んでいる人と郊外に住んでいる人、居住地によるご意見の違いがあれば、知りたいです。清水区の下住所まで記載されているのでしょうか。パブコメでこれだけの意見が出るのもほとんどないですので、そういった面でも貴重な情報かと思えます。</p>
事務局	<p>今の段階でお答えできるものはないのですが、少しお時間を頂ければ、どういったところに住まれている方がどこに着目しているか話をさせて頂きたいと思えます。パブリックコメントでは、住所地までの記載となっていますので、ある程度の分析はこれから行う予定です。</p>
日詰委員長	<p>せっかくパブコメをしていただいているので、そこまで分析できると面白いですね。</p>
日詰委員長	<p>それでは、2か年度に渡ってのご検討をありがとうございました。以上をもちまして、本日の検討委員会を閉めたいと思えます。その他事務局でございましたら、お願いいたします。</p>
<h3>3 その他（1）新清水庁舎建設基本計画の公表</h3>	
事務局	<p>色々なご提案をありがとうございました。この基本計画ですが、今頂いたご意見等々を反映させながら、2月中には公表を考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
日詰委員長	<p>公表にあたりましては、委員の皆さまから頂いたご指摘がたくさんあ</p>

りましたので、できればその辺りをもう一度精査し、丁寧に対応して頂きたいと思えますし、市民の皆様に公表するにあたりましては、公表資料そのものが、分かりやすくかつ丁寧な説明をしていただくようお願いいたします。

4 閉会